

## 乳がん検診を受けられる方へ

新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応として、倦怠感や頭痛、発熱の他に、ワクチンを接種した側のわきの下のリンパ節の腫れ（腋窩リンパ節腫大）がみられることが報告されています。

（ワクチン接種後の腋窩リンパ節腫大は、良好な免疫反応を獲得している兆候ですので心配はなく、数日から最長 10 週間後までには自然にひいていくことが分かっています。）

一方、このワクチンの反応によるリンパ節の腫れが、マンモグラフィや乳腺超音波検査などの画像診断に影響を及ぼすため、このたび日本乳癌検診学会より、乳がん検診はワクチン接種前か、2 回目のワクチン接種後少なくとも 6～10 週間の間隔をおいてから施行することを推奨する手引きが出されました。

これらから当院でも、乳がん検診は「ワクチン接種前、あるいは 2 回目のワクチン接種後 10 週間以上たってからの実施」を推奨させていただくこととしました。

※ワクチンを 1 回のみ接種する方は、その日が起点となります。

なお、乳がん検診を推奨しない時期においても、例えばその時期でないと受診できないご事情がある場合など、ご本人様の意志により受診することは可能ですので、ご相談ください。

※この場合、受付時にワクチン接種の情報（接種日や右腕・左腕）等を聞き取りさせていただきます。ご理解とご協力をお願いします。

お問合せ先  
市立貝塚病院 健診センター  
電話（代表）072-422-5865  
※月～金曜日の平日  
9:00～17:00